



積水化学工業株式会社  
2021年度(2022年3月期)  
第3四半期

# 決算説明会

取締役 専務執行役員  
経営戦略部長  
上脇 太

2022年1月31日

# 2021年度 第3四半期実績および 通期見通し

為替レート	2020年度			2021年度			下期計画(10月)
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	
前提	-	-	-	¥110/US\$ ¥129/€	¥114/US\$ ¥128/€	¥114/US\$ ¥129/€	¥110/US\$ ¥129/€
実績 *期中平均	¥105/US\$ ¥125/€	¥105/US\$ ¥126/€	¥105/US\$ ¥126/€	¥114/US\$ ¥130/€	-	-	

# 2021年度第3四半期 損益概要

- 3Qは原材料高騰、および半導体不足影響長期化も、売値改善、新築売上棟数増、検査薬拡販が寄与し、全社で増収、営業増益
- 売上高、営業利益は計画(10月)をやや上回って進捗
- 経常利益、最終利益は為替差益、政策保有株式売却益等により大幅増益

(億円)	2020年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減
売上高	2,664	2,907	+243
営業利益	175	219	+45
経常利益	132	218	+87
親会社株主に帰属する 四半期純利益	76	167	+90

# 2021年度第3四半期累計 損益概要

- 増収、営業利益・経常利益は増益
- 最終利益は上期のAerospace社減損により減益

(億円)	2020年度 1Q-3Q実績	2021年度 1Q-3Q実績	増減
売上高	7,564	8,387	+822
営業利益	399	575	+176
経常利益	338	628	+290
親会社株主に帰属する 四半期純利益	207	127	▲79

# 2021年度第3四半期 カンパニー別売上高・営業利益

## ■3Qは各セグメントとも増収、住宅、メディカルが大幅増益

- ・高機能P：原料高騰、半導体不足影響拡大も、売値改善・CRによりオフセット。固定費抑制も寄与し、増益確保
- ・住宅：部材高騰影響拡大、新築受注減速も、売上棟数増により、大幅増収増益
- ・環境LL：原料高騰更に拡大、一部工事遅延影響あるも、売値改善を進め、前年並み利益水準確保
- ・メディカル：国内外検査需要は順調に推移。米国COVID-19検査需要拡大により大幅増収増益

(億円)	2020年度 3Q実績 (10-12月)		2021年度 3Q実績 (10-12月)		増減		2020年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		2021年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	高機能P	864	114	935	122	+71	+8	2,255	206	2,636	315	+381
住宅	1,139	36	1,233	66	+95	+30	3,445	166	3,731	214	+286	+48
環境LL	507	32	535	31	+28	▲1	1,469	57	1,496	63	+27	+6
メディカル	196	23	241	36	+45	+13	515	49	638	85	+122	+37
その他	7	▲23	11	▲24	+4	▲1	21	▲65	30	▲76	+8	▲11
消去又は全社	▲49	▲7	▲48	▲11	+1	▲4	▲141	▲13	▲144	▲26	▲3	▲13
合計	2,664	175	2,907	219	+243	+45	7,564	399	8,387	575	+822	+176

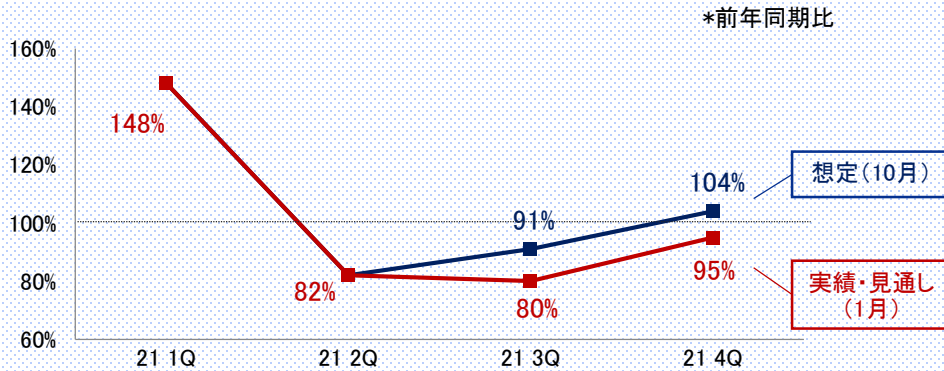
\*高機能P=高機能プラスチックカンパニー \*住宅=住宅カンパニー \*環境LL=環境・ライフラインカンパニー

# 市況見通し

■ 半導体不足影響長期化により自動車需要は想定(10月)を下回って推移。  
原料は一段高で推移する見通し

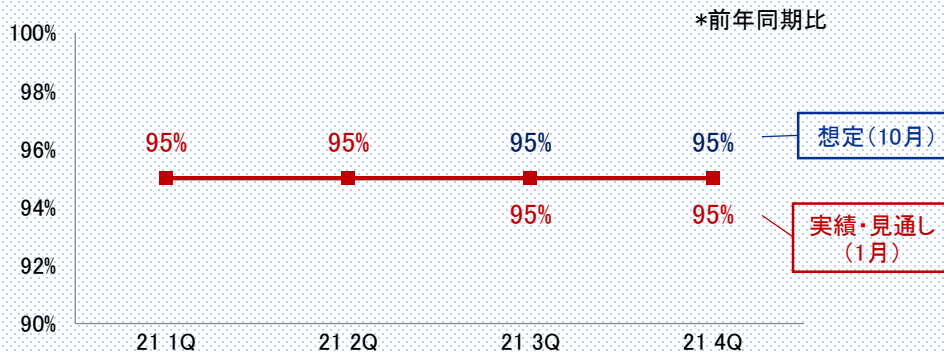
## グローバル自動車生産台数

半導体不足影響長期化。4Qより緩やかに回復基調も、想定(10月)を大きく下回る見通し



## スマホ出荷台数

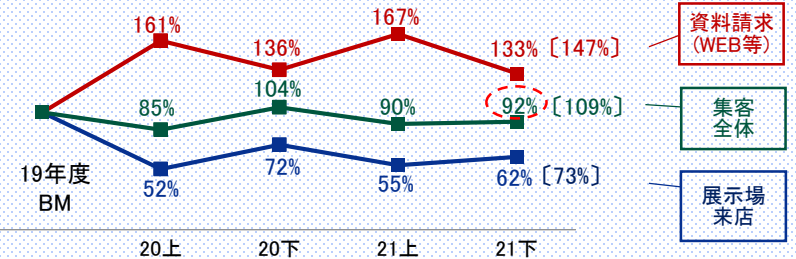
下期は想定(10月)通り推移する見通し



## 住宅・集客

\*19年度同期比。※〔〕内は想定(10月)

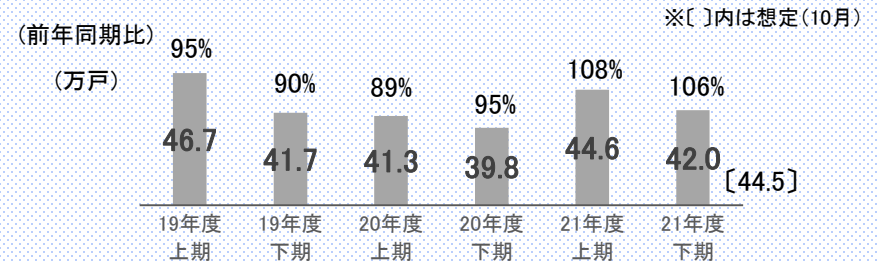
展示場来店はCOVID-19影響からの回復遅れに加え、住宅ローン減税反動により、集客全体が想定を下回る見通し



## 新設住宅着工

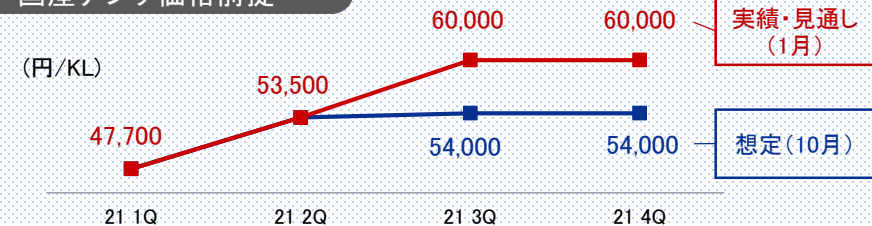
需要は復調基調継続も、想定(10月)をやや下回る見通し

※ 環境LL各製品の需要発現: 住宅着工後4~6ヶ月



## 国産ナフサ価格前提

(円/KL)



# 2021年度下期見通し カンパニー別売上高・営業利益

- 全社で大幅増収、売上高を上方修正、営業利益は計画(10月)通り着地の見通し
- 各セグメントとも増収増益
- 営業利益はメディカルで上方修正、他セグメントは計画(10月)通り着地の見通し

(億円)	2020年度 下期実績		2021年度 下期見通し		増減		2021年度 下期計画(10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,708	198	1,866	227	+158	+29	1,793	227	+73	0
住宅	2,546	175	2,692	222	+146	+47	2,752	222	▲60	0
環境LL	1,084	87	1,169	118	+85	+31	1,155	118	+15	0
メディカル	404	45	489	61	+85	+16	431	51	+58	+10
その他	21	▲46	36	▲58	+15	▲12	36	▲52	0	▲6
消去又は全社	▲99	▲11	▲92	▲25	+7	▲14	▲92	▲21	0	▲4
合計	5,665	449	6,162	545	+497	+97	6,076	545	+86	0

# 2021年度下期見通し(3Q、4Q別) カンパニー別売上高・営業利益

- 4Qは一段の原材料高騰、および半導体不足長期化による影響拡大を織り込むも、全社で増益見通し

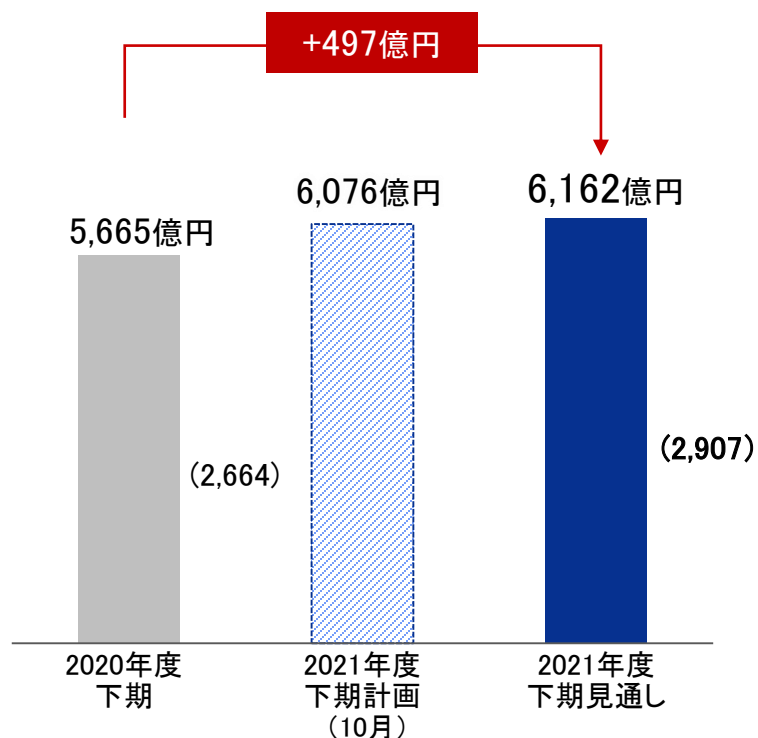
(億円)	2020年度 3Q実績		2021年度 3Q実績		増減		2020年度 4Q実績		2021年度 4Q見通し		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	864	114	935	122	+71	+8	844	83	931	105	+87	+22
住宅	1,139	36	1,233	66	+95	+30	1,408	139	1,459	156	+51	+17
環境LL	507	32	535	31	+28	▲1	577	56	634	87	+58	+32
メディカル	196	23	241	36	+45	+13	208	22	248	25	+40	+3
その他	7	▲23	11	▲24	+4	▲1	15	▲22	25	▲34	+11	▲11
消去又は 全社	▲49	▲7	▲48	▲11	+1	▲4	▲50	▲4	▲44	▲14	+6	▲10
合計	2,664	175	2,907	219	+243	+45	3,001	274	3,255	326	+254	+52



# 2021年度下期見通し 売上高・営業利益

- 市況回復、売値改善、高機能品拡販等により計画(10月)を上回り増収見通し
- 原材料高騰、半導体不足長期化による影響拡大も、「数量・構成」「売値改善」「CR」で影響を最小限にとどめる。退職給付費用減も寄与し、全社で営業利益計画(10月)を達成する見通し

## 売上高



\*カッコ内は3Q実績

## 営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
下期計画 (10月)	0	+15	+177	+57	▲139	+30	▲42	+97
下期増減見通し	0	+25	+141	+102	▲233	+57	+7	+97

計画(10月)対比  
高機能P ▲59  
住宅 ▲15  
環境LL ▲19

退職給付費用減+44



3Q増減	0	+10	+78	+35	▲106	+29	▲2	+45
4Q増減	0	+14	+63	+67	▲126	+28	+8	+52

# 2021年度通期見通し カンパニー別売上高・営業利益

■ 全社および各セグメントともに営業利益計画(10月)達成見通し

■ メディカルは最高益更新を目指す

(億円)	2020年度 実績		2021年度 見通し		増減		2021年度 計画(10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	3,099	289	3,567	420	+468	+131	3,494	420	+73	0
住 宅	4,853	305	5,190	370	+337	+65	5,250	370	▲60	0
環境LL	2,046	113	2,130	150	+84	+37	2,116	150	+14	0
メディカル	723	70	887	110	+164	+40	828	100	+59	+10
その他	36	▲88	55	▲110	+19	▲22	55	▲104	0	▲6
消去又は全社	▲191	▲17	▲188	▲40	+3	▲23	▲188	▲36	0	▲4
合計	10,566	673	11,641	900	+1,075	+227	11,555	900	+86	0

# 2021年度通期見通し

- 大幅増収。営業利益・経常利益は19年度水準を超え大幅増益
- 経常利益は過去最高益を更新する見通し
- 中期計画「**Drive2022**」最終年度に向け、仕込み強化

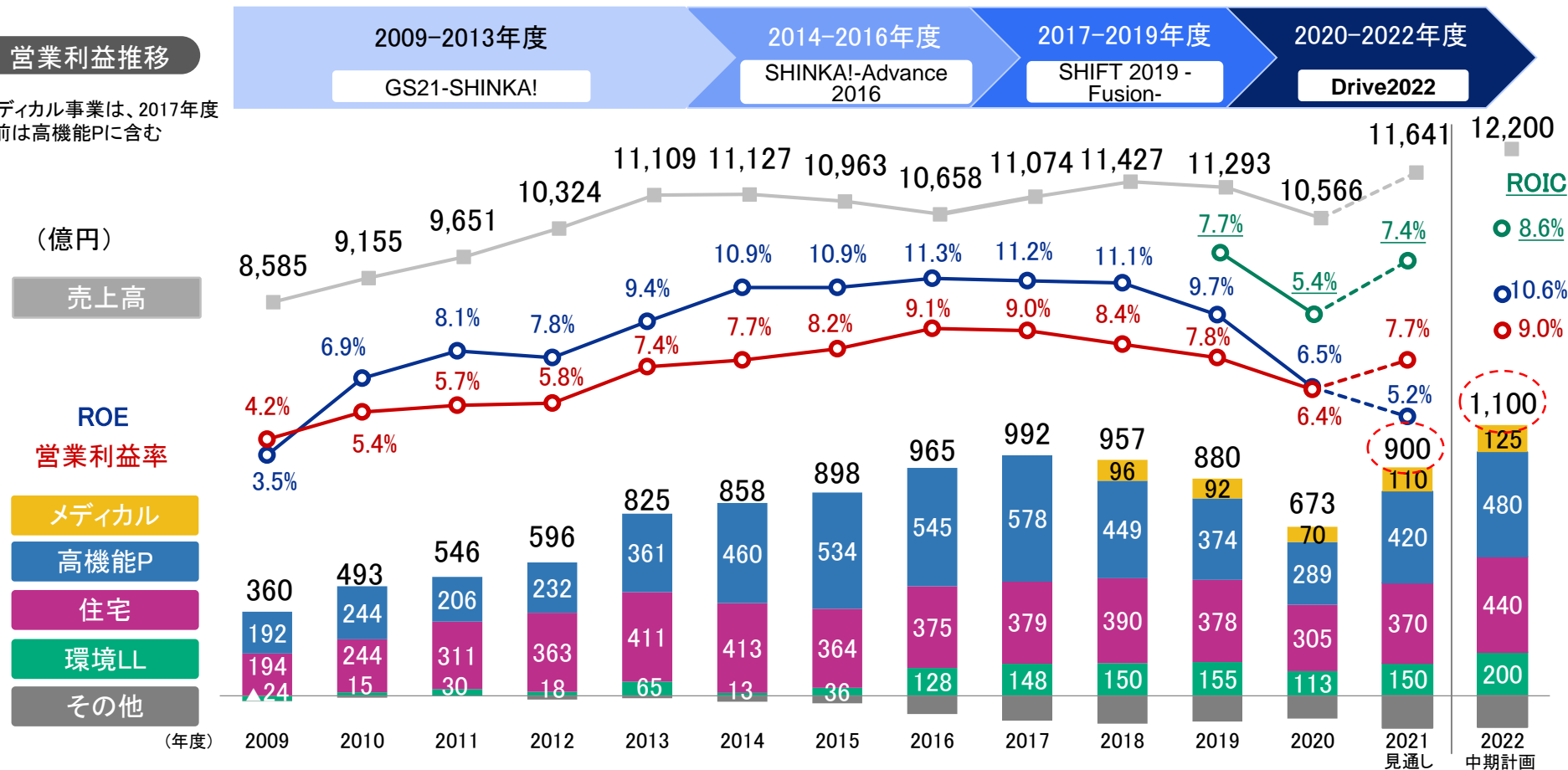
(億円)	2020年度 実績	2021年度 見通し	増減	2021年度 計画(10月)	差異
売上高	10,566	11,641	+1,075	11,555	+86
営業利益	673	900	+227	900	0
経常利益	626	940	+314	940	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	415	340	▲75	340	0

# Drive 2022の進捗

■ 21年度は、19年度を超える営業利益水準を回復し、22年度中期計画達成への道筋をつける

## 営業利益推移

\*メディカル事業は、2017年度以前は高機能Pに含む



## 外部環境

2008年10月 リーマンショック  
 2011年3月 東日本大震災発生  
 2014年4月 消費増税 <5%→8%>  
 2016年1月 急速な円高進行  
 2018年3月 世界貿易摩擦台頭  
 2019年10月 消費増税 <8%→10%>  
 2020年2月～ COVID-19感染拡大

## 為替レート\* (期中平均)

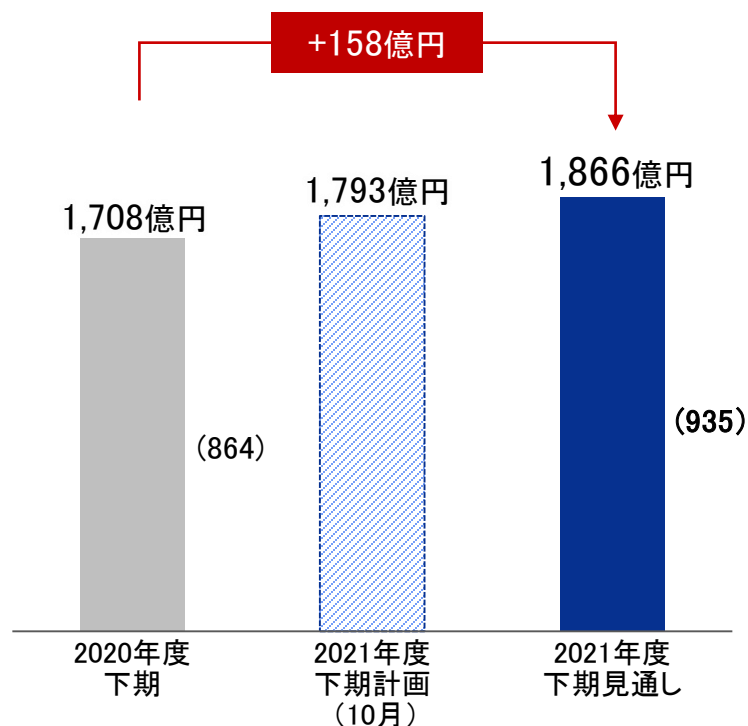
年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
為替レート	¥94/US\$	¥87/US\$	¥80/US\$	¥83/US\$	¥100/US\$	¥110/US\$	¥120/US\$	¥108/US\$	¥111/US\$	¥111/US\$	¥109/US\$	¥106/US\$	¥112/US\$	¥106/US\$

\*2021、2022年度は想定

# 高機能プラスチックカンパニー 下期業績見通し

- 半導体不足による自動車減産、スマホ減産影響拡大も、住インフラ材分野は一定の回復を見込む
- 更なる原料高騰拡大影響を、「売値改善」「CR」「固定費抑制」によりオフセットし、計画(10月)通り増益見通し

## 売上高

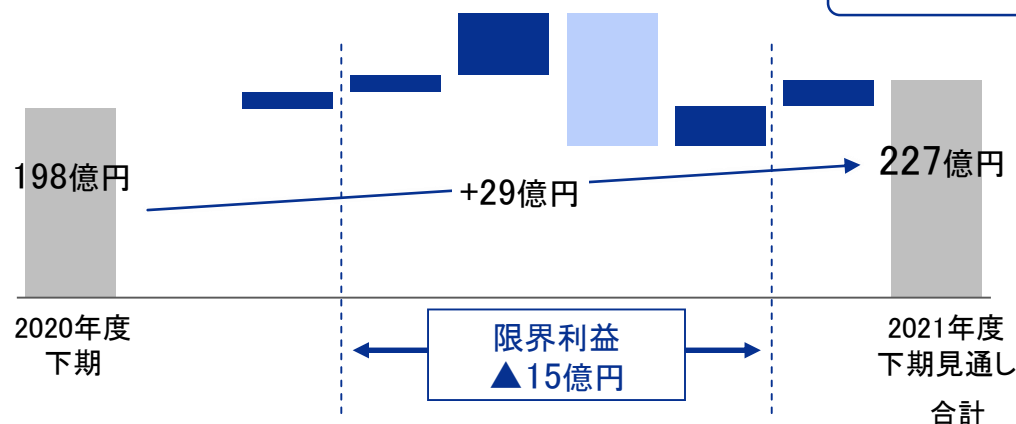


\*カッコ内は3Q実績

## 営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
下期計画 (10月)	0	+10	+28	+28	▲79	+21	+21	+29
下期増減見通し	0	+17	+18	+64	▲138	+41	+27	+29

退職給付費用減+6



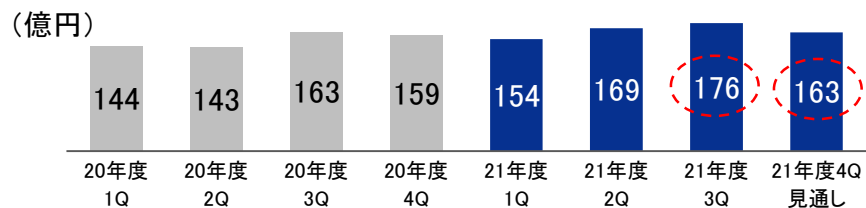
3Q増減	0	+7	+11	+23	▲68	+24	+12	+8
4Q増減	0	+10	+8	+41	▲70	+18	+15	+22

■3Qは自動車減産影響によりモビリティ分野苦戦も、エレクトロニクス分野は計画通り進捗。住インフラ材分野で大幅増収。4Qより一定の自動車生産回復を見込み、下期は3分野とも増収見通し

## 戦略3分野の売上高推移と進捗状況

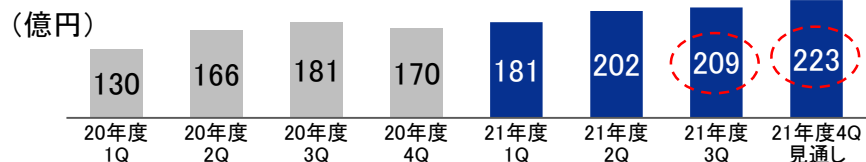
### エレクトロニクス

- 3Q: パネル需要が堅調に推移し、液晶向け拡大
- 4Q: MLCC向けバインダー樹脂等、非液晶分野が牽引



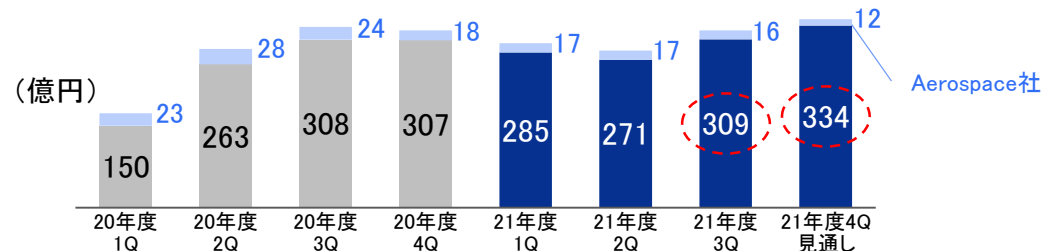
### 住インフラ材

- 塩素化塩ビ樹脂: インド・中東向け中心に需要堅調。値上げ浸透
- 耐火・不燃材料: 建築市況回復に加え、拡販好調。売値改善も進む

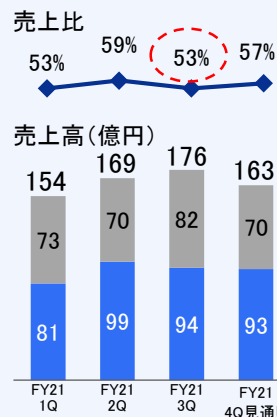


### モビリティ

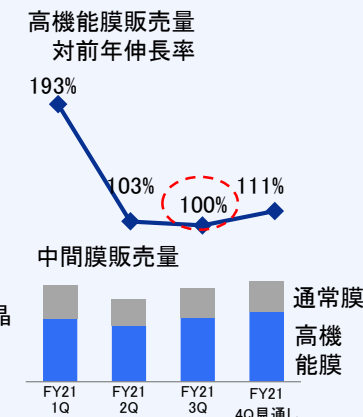
- 3Q: 半導体不足による自動車減産影響拡大により前年並みにとどまる
- 高機能中間膜は前年並みを確保、HUD膜は前年比伸長継続
- 4Q: 一定の自動車生産回復によりHUD膜を中心に高機能中間膜拡販 (下期HUD膜: 110%超)
- Aerospace社: 計画通りPF変革による新規増分、シナジー効果発現



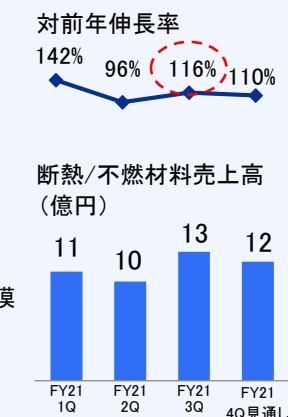
### 【非液晶分野注力】



### 【高機能中間膜拡販】



### 【断熱/不燃材料拡販】



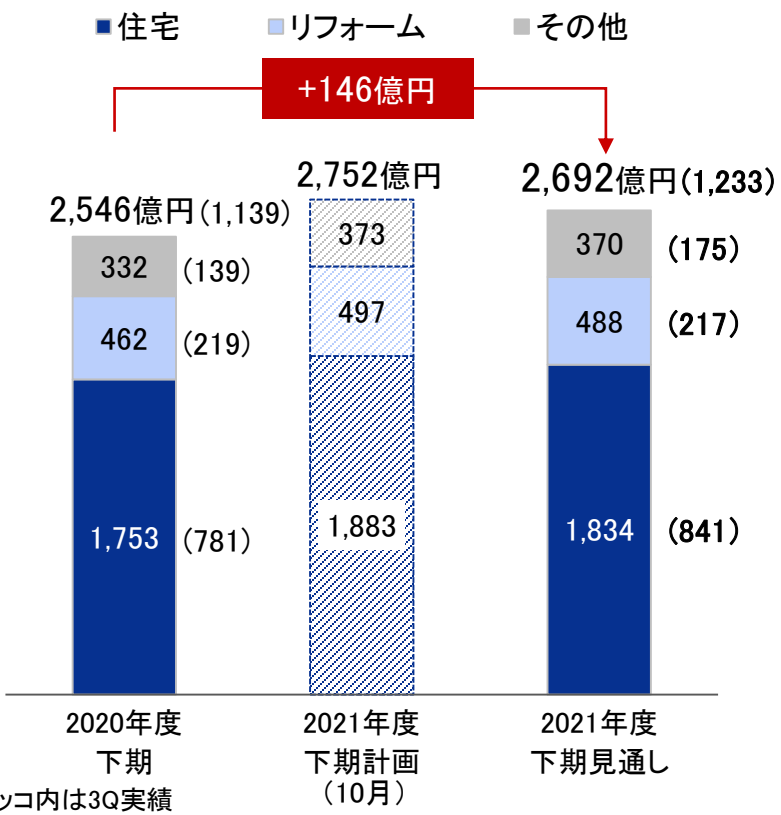
# 住宅カンパニー 下期業績見通し

- 3Qは新築受注減速も、売上棟数増、コスト削減により大幅増収増益
- 4Qは部材高騰影響が拡大も、分譲・建売、コスト削減に注力し、下期営業利益計画(10月)達成へ

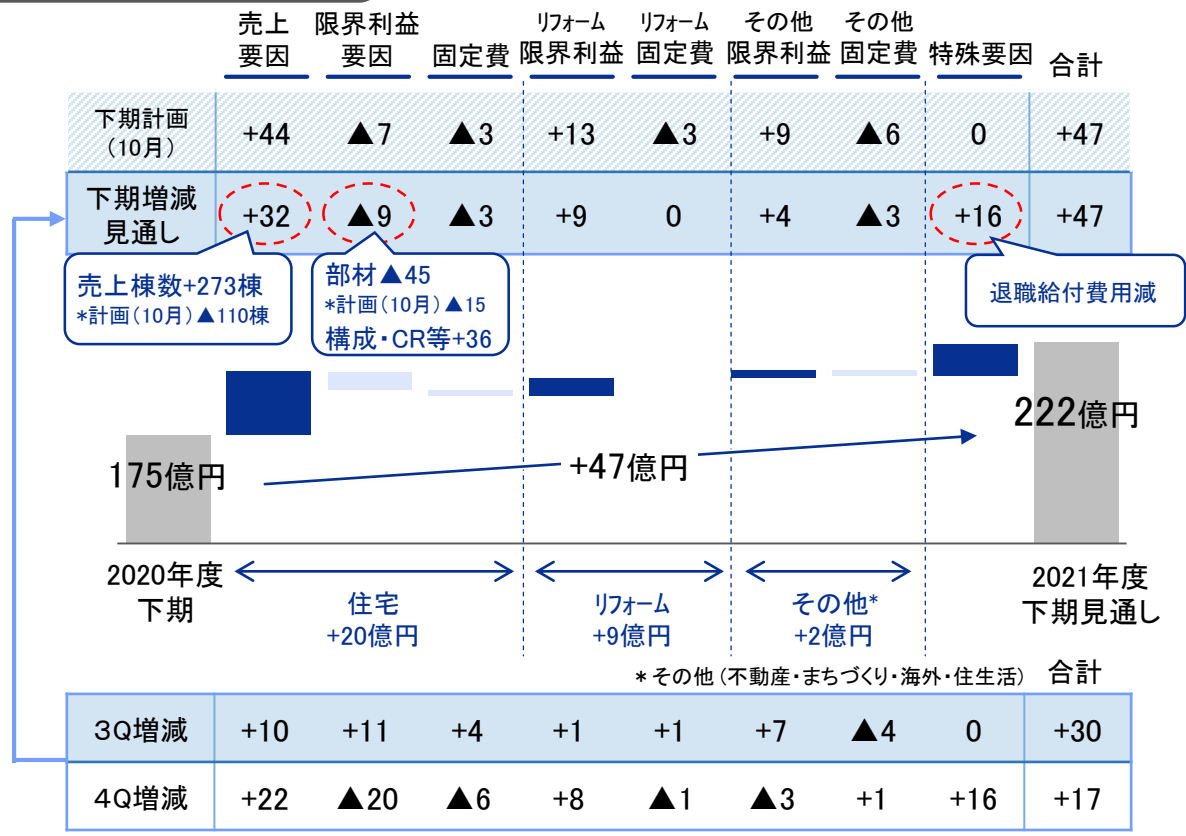
- 住宅：部材影響拡大。4Qは分譲・建売、スマート比率向上に注力
- リフォーム：3Q受注計画未達も、重点商材拡大に注力
- その他：まちづくり事業は計画通り収益への貢献が拡大

受注実績・計画	3Q	計画(10月)	4Q	計画(10月)	下期	計画(10月)
住宅受注棟数	100%	105%	101%	108%	100%	106%
リフォーム受注額	103%	108%	110%	113%	106%	110%

## 事業別売上高

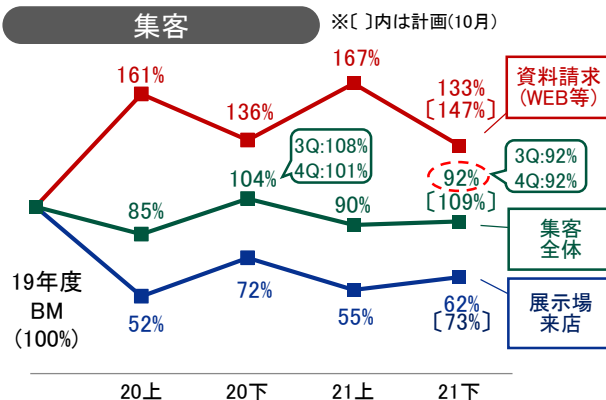


## 営業利益増減要因分析



- 4Q集客は引き続き回復遅れも、WEB強化・体験型施設活用による折衝効率向上を図る
- 戸建まちづくり新規案件の積極投入により、前年並みの受注を確保

## 集客推移・受注棟数実績



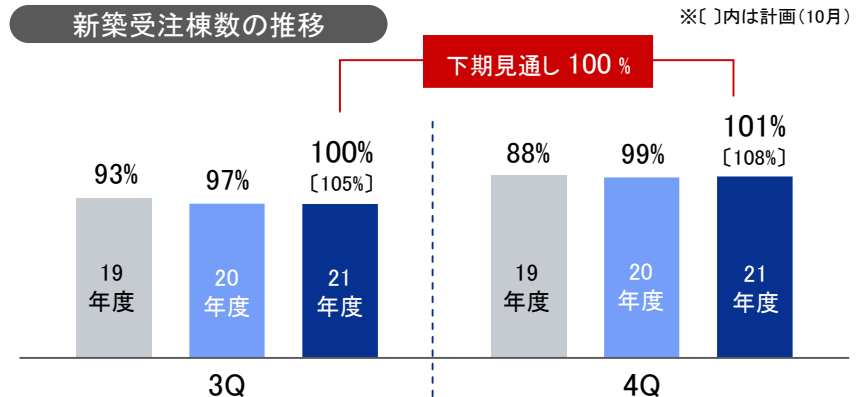
## 建築種別受注棟数

\*%は前年同期比

	3Q	4Q	下期	
戸建	建替	114%	110%	112%
	新築*1	89%	97%	94%
	自社分譲	105%	96%	100%
	うち建売	131%	97%	111%
トータル(集合含む)	100%	101%	100%	

\*土地 施主手配

## 下期受注実績・見通し



## 下期受注獲得施策

【50周年記念】



100周年へ向け、  
住社会への際立ちを  
創出し続けていく

営業戦  
力・集客

商品戦  
略

土地戦  
略

ブラン  
ド

### ■ バーチャル&リアル融合による折衝効率の向上

- ✓ WEB・オンライン施策強化(会員制特設サイト公開)
- ✓ 体験型施設「GREENMODEL PARK」積極展開  
ミュージアム含め 63拠点(22年3月末時点) 21年12月末比:+16拠点

### ■ 新SPS FR GREENMODEL受注拡大

- ✓ 大容量蓄電池によるスマート&レジリエンス訴求強化

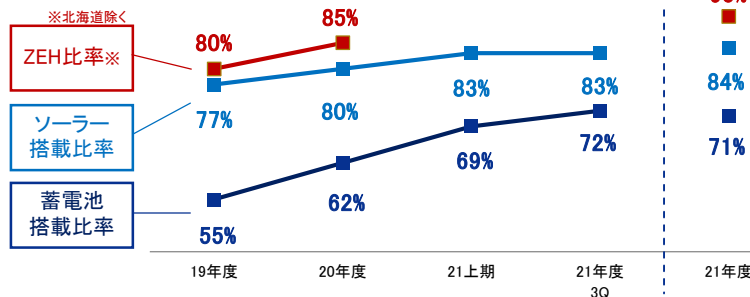
### ■ 戸建まちづくりPRJ新規案件の積極投入

PRJ規模: 10月時点11案件・約500区画 ⇒ 13案件・約600区画へ拡大

### ■ 次の50年に向け「シンボルマーク・英字ロゴ」導入(右記)

## スマートハウス関連指標\*

\*戸建受注中の搭載比率

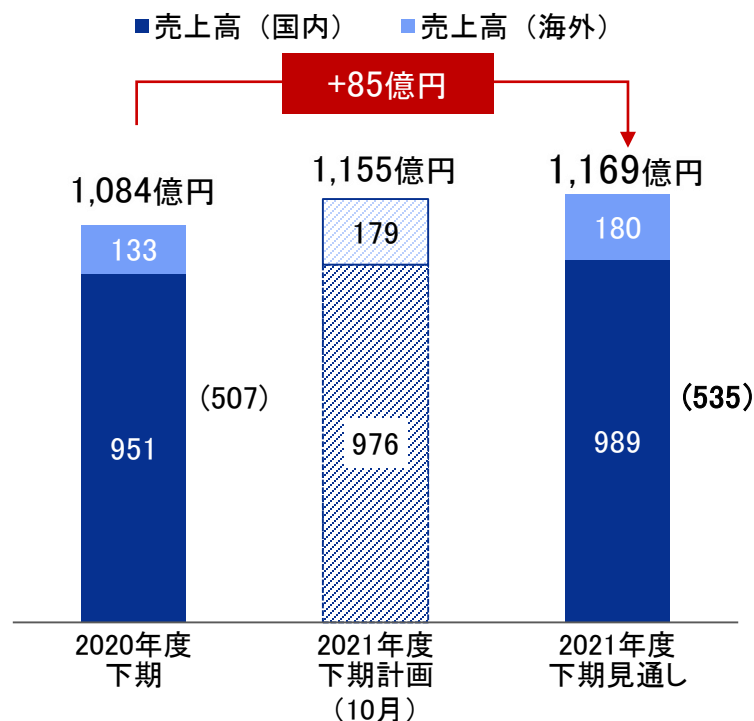




■ 一段の原料高騰影響を、「売値改善」「固定費減」でカバーし、計画(10月)通り増益の見通し。  
住宅・非住宅市況ともに一定の回復を見込む

- 国内: 売値改善、重点拡大製品拡販に注力
- 海外: COVID-19影響により一部工事物件が遅延も、需要は回復傾向

## 売上高



## 営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
下期計画 (10月)	0	0	+34	+29	▲30	0	▲2	+31
下期増減見通し	0	+1	+20	+38	▲49	+5	+18	+31

退職給付費用減+20

87億円 → +31億円 → 118億円

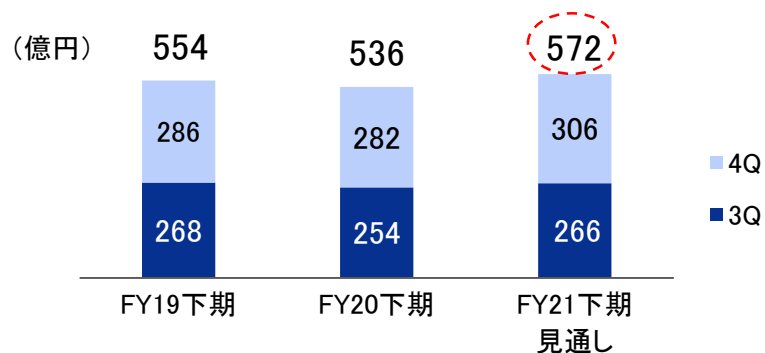
	3Q増減	4Q増減
連結増減	0	0
為替	0	+1
数量・構成	+5	+15
売値	+12	+26
原料	▲19	▲30
CR等	+1	+3
固定費	+1	+17
合計	▲1	+32

## ■一定の市況回復、売値改善の進捗により、戦略3分野とも増収を見込む

### 戦略3分野の売上高推移等

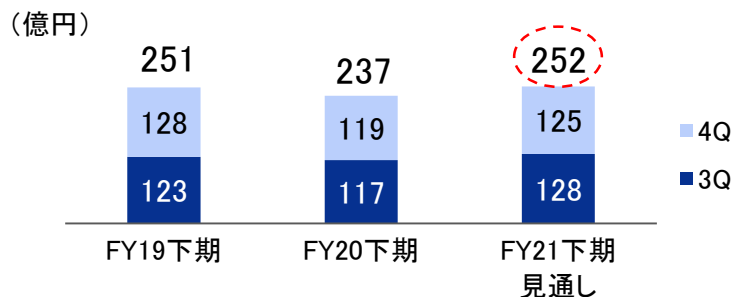
#### 配管・インフラ

- 住宅向けは堅調。非住宅需要は4Qから緩やかに回復を見込む
- 半導体関連需要好調によりプラントは堅調
- 管路更生海外でCOVID-19影響による一部工事遅延発生



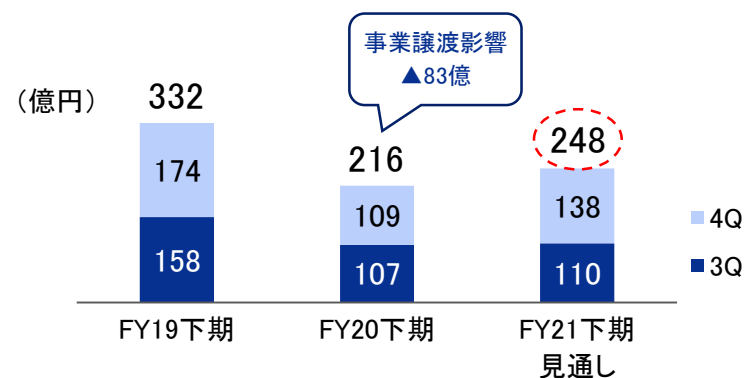
#### 建築・住環境

- 住宅向け需要回復。19年度並み水準に回復
- 収益性改善進む



#### 機能材料

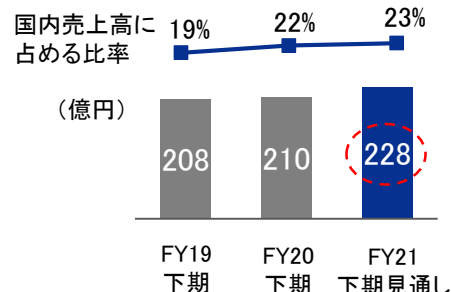
- シート：航空機向け需要は低調も、計画通り進捗
- FFU(枕木用途)：国内は緩やかに回復基調も、海外で一部工事遅延発生
- 高機能成型品(クリーン容器等)：堅調な市況を背景に、計画を上回り伸長



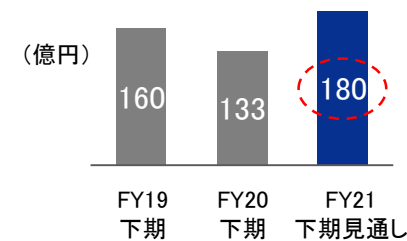
### 重点拡大製品・海外売上高

- 重点拡大製品、海外売上高は前年比増を確保

#### 重点拡大製品売上高



#### 海外売上高

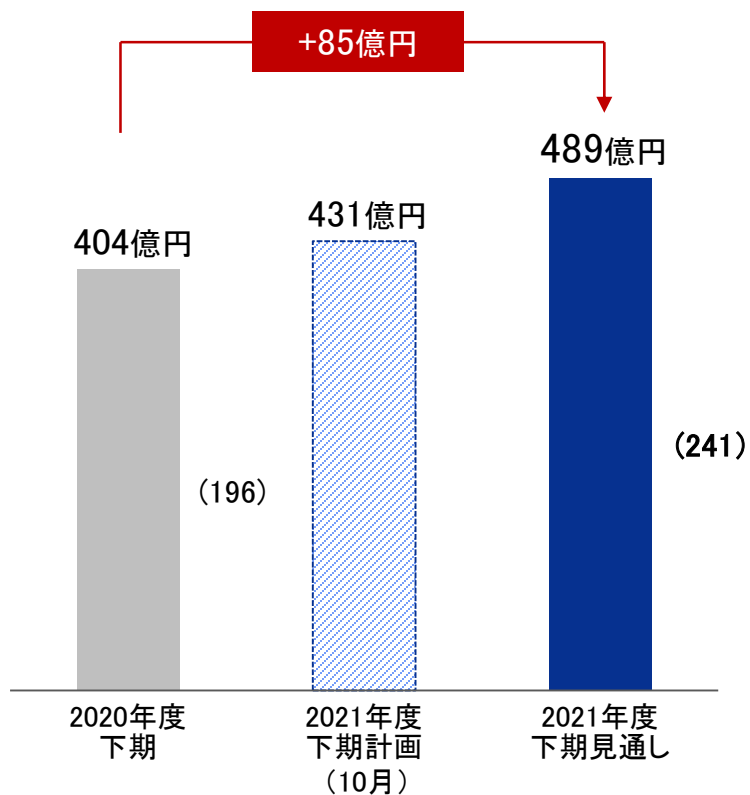


\* 過年度数値修正

# メディカル事業 下期業績見通し

- 検査需要は国内外とも順調に推移。COVID-19検査キット需要が米国で拡大し、大幅増収増益見通し
- 医療事業は堅調に推移
- 遺伝子検査など開発強化に取り組む

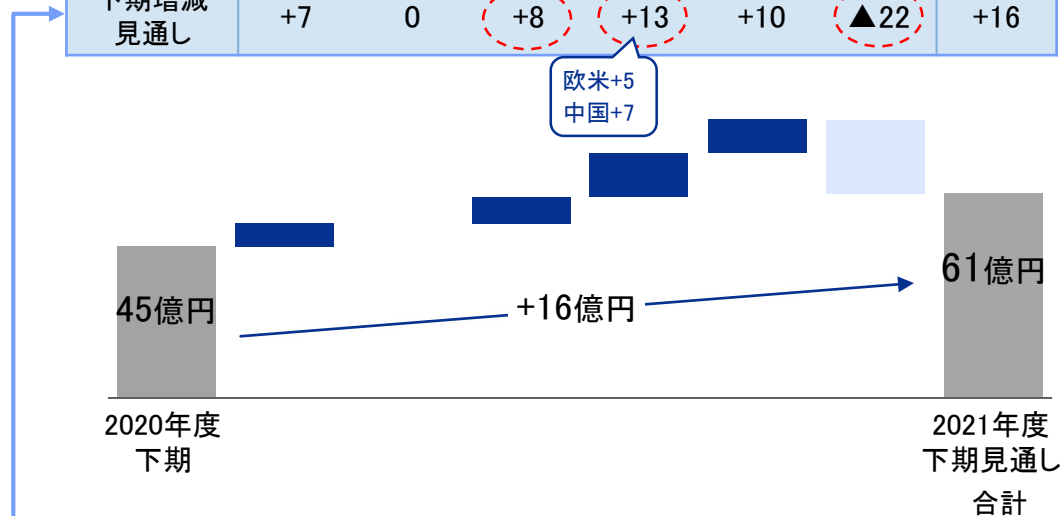
## 売上高



\*カッコ内は3Q実績

## 営業利益増減要因分析

	為替	新規連結等	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
下期計画 (10月)	+5	0	+3	0	+12	▲13	+6
下期増減見通し	+7	0	+8	+13	+10	▲22	+16



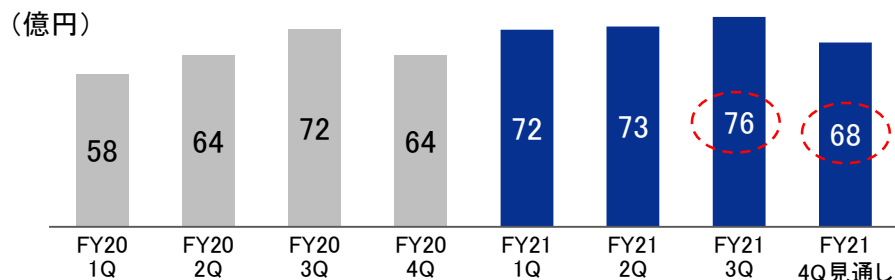
3Q増減	+3	0	+5	+5	+6	▲7	+13
4Q増減	+4	0	+2	+8	+4	▲15	+3

■ 検査事業は国内外ともに計画(10月)を上回って大幅増収の見通し。医療事業は新規原薬が計画(10月)通り貢献

## 事業別売上高推移と進捗状況

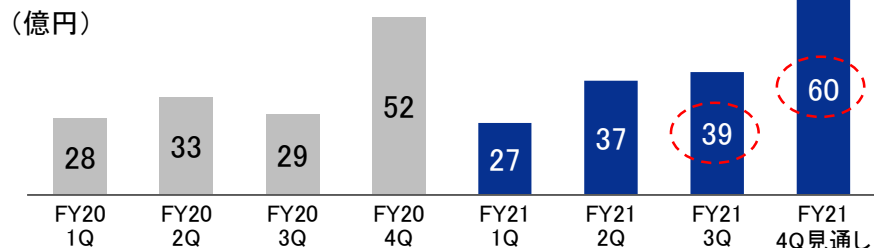
### 検査国内

- 3Q: 需要回復。計画を上回って進捗
- 4Q: 引き続き堅調な需要回復を見込む。新凝固機器拡販に注力



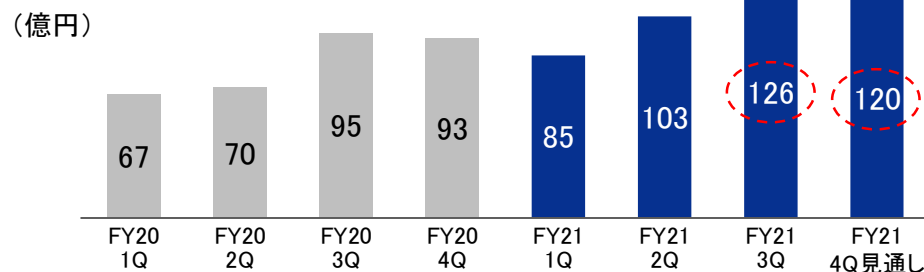
### 医療(医薬・創薬支援・酵素)

- 新規原薬が計画通り4Qより収益貢献
- 創薬支援事業は受注好調



### 検査海外

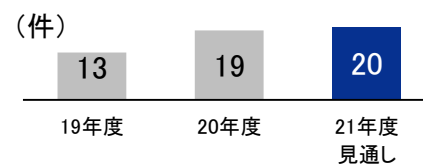
- 3Q: 計画を上回って進捗。米国でCOVID-19検査キット需要が想定以上に拡大。中国は血液凝固試薬が大幅伸長
- 4Q: 一定のCOVID-19検査キット需要減を見込む



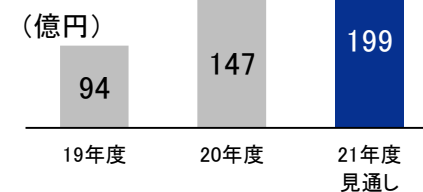
## 新製品の開発・売上高推移

- 米国COVID-19検査キット(自社品)申請完了。新凝固機器、3Q上市済

### 新製品上市数



### 新製品売上高



2021年度第3四半期  
**決算内容**

# 連結対象会社数と増減影響

## 連結対象会社数

	2021年3月末	2021年12月末	増減
連結会社	161社	155社	増加 0社 減少 6社*1
持分法会社	8社	8社	増加 0社 減少 0社

\*1 Muhan Co., Ltd.、積水集成衛浴(瀋陽)有限公司、Sekisui Chemical (Thailand) Co., Ltd.、(株)積水Refresh、Sekisui Polymatech Trading (Thailand) Co., Ltd.、アイネット(株)

## 連結会社増減等による影響額

	2021年度1Q-3Q (前年比)	増減
売上高	▲58億円	九州セキスイ商事インフラテック(株)*2 一部事業譲渡*3、
営業利益	0億円	PT.SEKISUI TECHNO MOLDING INDONESIA*4等

\*2 2021年4月 積水ヒノマルより社名変更

\*3 2020年度第2四半期中に一部事業譲渡

\*4 2020年度第4四半期中より連結除外

# 損益概要

(億円)		2020年度1Q-3Q	2021年度1Q-3Q	増減	
売上高		7,564	8,387	+822	
売上総利益		2,359	2,598	+239	
売上総利益率		31.2%	31.0%	▲0.2%	
販売費および一般管理費		1,961	2,023	+63	
営業利益		399	575	+176	積水化成品工業分 ▲16
持分法投資損益		13	2	▲11	
その他営業外損益		▲73	52	+125	為替差損益 +50
経常利益		338	628	+290	株式売却益 +259
特別利益		-	259	+259	
特別損失		32	511	+480	Aerospace社 減損損失 +495
税引前利益		307	376	+69	のれん +374 無形資産 +121
法人税等		89	235	+146	
非支配株主に帰属する四半期純利益		11	13	+2	
親会社株主に帰属する四半期純利益		207	127	▲79	のれん減損 +374は 税効果適用無し
為替レート (期中平均)	米ドル	106円	111円		
	ユーロ	122円	131円		

# 貸借対照表 -資産-

(億円)	2021年 3月末	2021年 12月末	増減
現金及び預金	875	1,169	+295
売上債権	1,706	1,778	+72
棚卸資産	2,229	2,449	+220
その他流動資産	246	344	+98
有形固定資産	3,514	3,539	+25
無形固定資産	976	462	▲515
投資有価証券	1,747	1,358	▲388
投資その他の資産	209	253	+44
資産合計	11,501	11,352	▲149

棚卸資産(B/S科目)	2021年 12月末	増減
建売住宅(製品)	286	+13
造成済土地(分譲土地)	561	▲26
造成中土地(仕掛品)	99	▲45
工事中住宅(仕掛品)	343	+110
部材等(原材料)	45	+10
住宅計	1,335	+61
非住宅計(製品等)	1,114	+159
棚卸資産計	2,449	+220

Aerospace社減損 ▲495

株式売却 ▲460  
時価評価 +76

為替影響 +78  
▶ 実質: ▲227



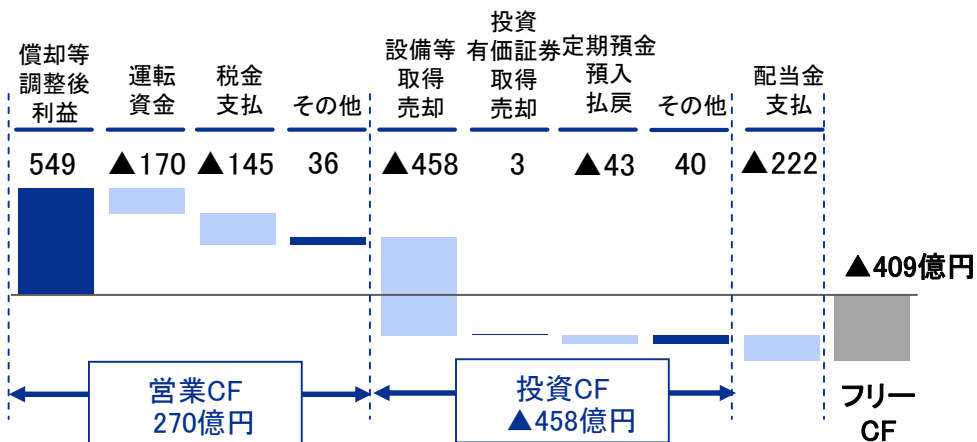
# 貸借対照表 -負債・純資産-

(億円)	2021年3月末	2021年12月末	増減	
無利子負債	3,176	3,461	+285	
有利子負債	1,382	1,213	▲169	
(ネット有利子負債)	(507)	(44)	(▲464)	
負債合計	4,558	4,674	+116	
資本金等	2,090	2,090	0	
利益剰余金	4,411	4,236	▲175	当期純利益 +127
自己株式	▲434	▲446	▲12	配当金支払 ▲215
有価証券評価差額金	508	373	▲135	自己株式消却 ▲81
非支配株主持分	273	270	▲3	
その他純資産	96	154	+59	
純資産合計	6,944	6,678	▲265	消却 +81
負債・純資産合計	11,501	11,352	▲149	取得 ▲95
自己資本比率	58.0%	56.4%	▲1.6%	株式売却 ▲181
D/Eレシオ(ネット)	0.08	0.01	▲0.07	株式時価評価 +53

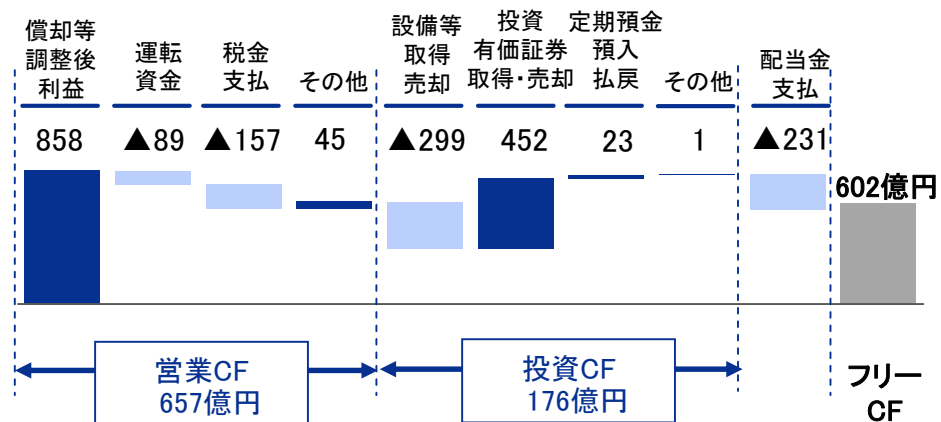
# 連結キャッシュ・フロー

(億円)	2020年度1Q-3Q	2021年度1Q-3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	270	657
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲458	176
財務活動によるキャッシュ・フロー	209	▲531
現金及び現金同等物の増減額	38	312
現金及び現金同等物の期末残高	786	1,079
フリーキャッシュ・フロー ＝営業活動CF＋投資活動CF－配当金支払	▲409	602

2020年度1Q-3Q フリーCF



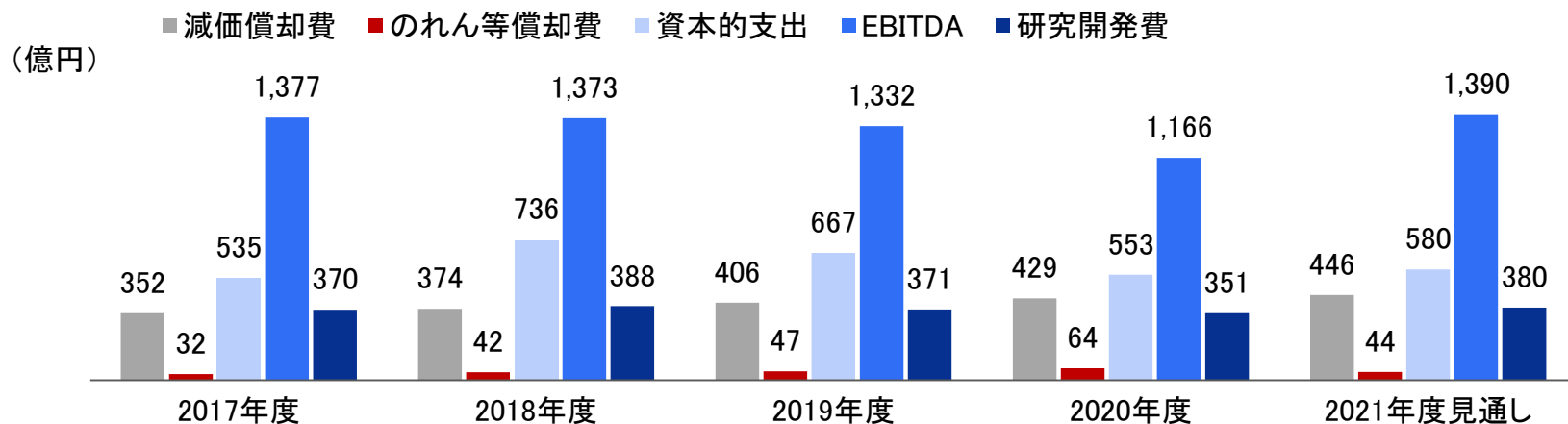
2021年度1Q-3Q フリーCF



# 減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2020年度 1Q-3Q	2021年度 1Q-3Q	増減	2020年度 通期	2021年度 通期見通し	増減
減価償却費	318	328	+9	429	446	+17
のれん等償却費	48	38	▲10	64	44	▲20
資本的支出	430	352	▲78	553	580	+27
EBITDA	765	940	+175	1,166	1,390 (過去最高)	+224
研究開発費	259	270	+11	351	380	+29

## 減価償却費・資本的支出・研究開発費推移



\*1 減価償却費はM&Aによる無形資産の償却費は含まず

\*2 のれん等償却費 = のれん償却費+M&Aによる無形資産の償却費

\*3 EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん等償却費

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

\* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

# 住宅カンパニー実績・計画について

## 1. 住宅事業の主要データ

	2021年度				2020年度				2019年度 通期		
	上期	下期見通し		通期見通し	上期	下期		通期			
		3Q				3Q					
連結	売上高(億円)	2,498	1,233	2,692	5,190	2,306	1,139	2,546	4,853	5,129	
	住宅	1,716	841	1,834	3,550	1,612	781	1,753	3,365	3,604	
	リフォーム	459	217	488	947	415	219	462	876	950	
	その他	324	175	370	693	280	139	332	612	575	
	不動産	247	122	267	514	234	117	244	477	455	
	住生活サービス	38	20	42	79	37	19	41	78	79	
	まちづくり	28	29	48	76	1	1	38	39	2	
	海外	6	2	7	13	6	1	6	13	19	
その他	1.販売棟数(棟)	5,040	2,345	5,520	10,560	4,910	2,290	5,245	10,155	10,910	
	戸建	4,830	2,270	5,175	10,005	4,645	2,210	4,910	9,555	10,200	
	請負	4,075	1,960	4,355	8,430	4,085	1,935	4,250	8,335	9,215	
	建売	755	310	820	1,575	560	275	660	1,220	985	
	アパート等	210	75	345	555	265	80	335	600	710	
	2.主なデータ										
	単価<全国販社・戸建>(百万円)	31.6	32.5	-	-	31.5	31.6	31.1	31.3	31.5	
坪単価<全国販社・戸建>(万円)	89.5	91.1	-	-	87.8	88.6	88.1	87.9	86.8		
床面積<全国販社・戸建>(㎡)	116.4	117.9	-	-	118.4	117.7	116.3	117.4	119.7		
展示場数(棟)	435	-	431	431	439	-	441	441	446		
営業人員数(人)	2,533	2,441	2,380	2,380	2,612	2,529	2,451	2,451	2,487		

# 住宅カンパニー実績・計画について

2. 受注状況等		2021年度				2020年度				2019年度			
		上期	3Q	下期見通し	通期見通し	上期	3Q	下期	通期	上期	3Q	下期	通期
(百万円)													
新築・リフォーム	期初受注残	184,800	192,500	192,500	-	205,400	194,500	194,500	-	219,500	217,320	217,320	-
	伸び率	▲10%	▲1%	▲1%	-	▲6%	▲11%	▲11%	-	+6%	+2%	+2%	-
	新規受注	200,607	94,491	199,821	400,428	175,319	91,265	190,806	366,125	203,590	93,241	193,472	397,062
	伸び率	+14%	+4%	+5%	+9%	▲14%	▲2%	▲1%	▲8%	▲1%	▲6%	▲11%	▲6%
	売上高	192,907	93,491	210,121	403,028	186,219	90,065	200,506	386,725	205,770	88,861	205,392	411,162
	伸び率	+4%	+4%	+5%	+4%	▲10%	+1%	▲2%	▲6%	+3%	+1%	▲3%	±0%
	期末受注残	192,500	193,500	182,200	-	194,500	195,700	184,800	-	217,320	221,700	205,400	-
	伸び率	▲1%	▲1%	▲1%	-	▲11%	▲12%	▲10%	-	+2%	▲2%	▲6%	-

3. 住宅着工戸数		2021年度				2020年度				2019年度 通期
		上期	3Q	下期見通し	通期見通し	上期	3Q	下期	通期	
(戸)										
住宅着工戸数		445,674	226,818	420,326	866,000	414,039	207,126	398,125	812,164	883,687
上記のうち持家+分譲戸建着工(=A)		220,321	114,982	212,052	432,373	195,340	103,176	197,108	392,448	429,492
当社戸建販売棟数(=B)		4,830	2,270	5,175	10,005	4,645	2,210	4,910	9,555	10,200
当社シェア(=B/A)		2.2%	2.0%	2.4%	2.3%	2.4%	2.1%	2.5%	2.4%	2.4%

\*2021年度3Q以降の“住宅着工戸数”と“上記のうち持家分譲戸建着工”は見通し

4. スマート系仕様装着比率		2021年度				2020年度				2019年度 通期
		上期	3Q	下期見通し	通期見通し	上期	3Q	下期	通期	
太陽光発電搭載		83%	83%	84%	84%	79%	78%	80%	80%	77%
蓄電池搭載比率		69%	72%	73%	71%	60%	61%	64%	62%	55%
快適エアリー		72%	70%	70%	71%	72%	74%	75%	73%	77%